図書室へ行こう

町生涯学習センター・図書室

☎ 096-234-2447（内線331）

■開館時間　午前９時～午後５時

■休館日　毎週火曜
年末年始

■貸出冊数　１人５冊まで

■貸出期間　15日間



■白旗小2年生が図書室を見学

９月９日（水）、白旗小学校の２年生15人が図書室見学に訪れました。児童からの質問タイムでは、蔵書数や仕事の内容、仕事でうれしかったことやたいへんなことは何かなどの質問がたくさんあり、図書室への関心の高さを感じました。



▲職員による大型絵本の読み聞かせで、物語に夢中になり静かに聞き入る児童たち

職員による大型絵本の読み聞かせを楽しんだあとは、図書室内を自由に見学。思い思いに本や布の絵本を手に取り、本の世界に夢中になっていました。これをきっかけに、さらに本に親しんでほしいと思います。

■0歳児からのおはなし会について

図書室では、毎月第２木曜日に「0歳児からのおはなし会」を行っています。絵本の読み聞かせや、手袋人形、手遊びうたなど楽しい内容です。子育て中の保護者のみなさん、おじいちゃん、おばあちゃんも子どもたちとお気軽にご参加ください。

●**日時**
11月12日（木）午前10時30分～

●**会場**
おはなしのへや（甲佐町生涯学習センター・図書室内）

新着図書紹介

小説



永遠の記憶
東野 圭吾 著／文藝春秋

内海薫が刺された。犯人は 70 歳ほどの老人。飛び降り自殺を図るも失敗し、取り調べには黙秘を貫く。一方、湯川と草薙は、老人のある持ち物を手掛かりに、「忘れてはいけない謎」の扉を開き…。ガリレオ、最後の謎。心に残る１冊です。



ハヤブサ消防団 森へつづく道
池井戸 潤 著／集英社

女性が幼いわが子を残し、川から水死体で発見された。消防団の一員として遺体の引き上げに関わった三馬太郎は、事件の真相を探るうち、町を揺るがす巨大な疑惑に巻き込まれ…。ストーリー展開に引き込まれるシリーズ作品第２作です。



飛燕
あさの あつこ 著／朝日新聞出版

小舞藩、高蔵家に生まれた三姉妹。長女は婿を取って武家の家を守り、二女は豪商の後添えになり、三女は学問の道を選んだ。思わぬ災いに巻き込まれるもその真相は…。三姉妹の魅力的な個性と凛とした生き方が印象的な１冊です。

一般書



図解やさしくわかる MCI 軽度認知障害
新井 平伊 監修／ナツメ社

認知機能低下が認められるものの生活に支障はない、認知症の一歩手前の状態をさす「MCI（軽度認知障害）」。専門医の監修で、認知症の発症を防ぎリバージョン（回復）をめざす、「検査」「治療」「予防習慣」を分かりやすく解説しています。



「リサとガスパール」のアトリエから。絵本のように暮らす、ふたりのパリ
アン・グットマン、ゲオルク・ハレンスレーベン著／KADOKAWA

多くの国で愛される絵本「リサとガスパール」の作者夫婦によるライフスタイル本。「忙しくても家族と必ず食卓を囲む」「夫婦であっても小さな気遣いを重ねて信頼関係を築く」など、穏やかに生きるための暮らしのヒントが満載です。



はるの献立日記
黒木 華 著／飛鳥新社

俳優・黒木華が、2025 年の１年間、朝・昼・晩に食べたもの、料理したものを日記形式でつづった料理エッセイ＆レシピ集。仕事現場のお弁当やオフの日の食べ歩きまで記録。黒木家のレシピ 28 品を収録したおすすめの１冊です。

文化財探訪

第136回

「甲佐町の地形と成立ち」

町文化財保護委員　成松 和夫（浅井区）

地形は、気象や生活等に大きな影響を及ぼします。本町の地形は、おおまかに東から山間地、水田地、畑地と非常に変化に富んでいます。

南東部の山は、宮崎沖でフィリピン海プレートがユーラシアプレートに沈み込む時、表面がはがれて付加体を形成し九州山地を形成しています（１～２億年前）。本町は、その西北部にあたり、東南部の険しい山は、石灰岩や変成岩で構成され非常に硬い岩石です。甲佐町、美里町、御船町の町境の甲佐岳（753㍍）はその代表であり、主に石灰岩で形成されています。

活断層の分布は、今回地震を起こした町の西側を北東から南西方向にぬける布田川・日奈久断層と緑川中流域を平行して走る緑川断層（臼杵－八代構造線の一部）とがみられます。また、構造線の北側に花崗岩類が帯状に分布し、この部分は風化しやすく、浸食しやすいため、その部分を緑川が流れています。

町は、緑川、釈迦院川などの川の流れにより、浸食され谷が形成されました。その後約９万前の阿蘇の大火砕流が流れ、町の低地を埋めました。ふたたび緑川が流域を流れて、少しずつ浸食を開始し、ふたたび低地を形成します。

西部の乙女台地は御船層群の地層、阿蘇火砕流堆積物、段丘れき層を構成しています。緑川左岸（益城橋上流側など）では、今でも溶結凝灰岩の壁を削っています。これらにより、自然豊かで豊富な水資源を本町にもたらしています。



▲主に石灰岩で構成されている甲佐岳（船津地区から撮影）



▲甲佐岳頂上の吉見神社には石灰岩の大きな岩が露出している

お問い合わせ先　町社会教育課　☎096-234-2447（内線327）

人権 ～心豊かに暮らすために～

すべての人が個人を尊重し安心して暮らせる社会へ

■部落差別（同和問題）の解消に向けて

人は、自分が生まれる場所や家庭を選ぶことはできません。それにもかかわらず、特定の地域に生まれたことや出身地を理由に、その人の人格とは関係なく、日々の生活や結婚、就職などで不利益な扱いを受けることがあります。こうした部落差別（同和問題）は、一人一人の尊厳や人生の選択を傷つける、決して許されない人権侵害です。

近年も、インターネットやＳＮＳ上で特定の地域に関する情報が掲載されるなど、部落差別を助長する事案が発生しています。差別は、過去だけの問題ではありません。形を変えながら、今も人々の不安や苦しみにつながる問題として存在しています。

こうした人権をめぐる歩みの１つに、１９６１年に高知県で始まった「教科書無償化運動」があります。当時、被差別部落の母親たちが中心となり、「すべての子どもに学ぶ権利を」と声をあげました。これは、憲法が掲げる義務教育の「無償」という理念と現実との隔たりに向き合い、子どもたちの学ぶ権利を求めた運動です。その後、全国的な義務教育用教科書の無償給付へとつながりました。

この歩みは、社会にある不合理や不公平を見過ごさず、誰もが尊重されるために声を上げ、行動することの大切さを示しています。

「部落差別（同和問題）」のない社会をつくるためには、出身や地域を理由に人を決めつけたり、扱いを変えたりすることが誤りであると、一人一人が理解することが大切です。個人をその人自身として尊重し、差別の不当さを正しく理解しながら、誰もが安心して暮らせる社会を共に築いていきましょう。

●お問い合わせ先
町人権教育推進協議会事務局
（町教育委員会社会教育課）
☎０９６-２３４-２４４７